



す ぎ

杉 っ 子

令和7年11月7日 発行
学校だより 第7号
射水市立小杉小学校
TEL 0766-55-1055
E-mail kosugi-e@imizu.ed.jp

人生は、よろこばせごっこ

校長 杉 高 浩

11月 霜月を迎えました。朝夕の冷たい空気が秋の深まりを感じさせます。北部線の街路樹の葉が思い思いの色に染まり、「山粧^{やまよそお}う」季節がやってきました。今年の夏が暑くて長かったので、秋が駆け足で過ぎていきそうです。

さて、このところ「虐待」「いじめ」等、子供に関する痛ましい報道が後を絶ちません。この10年間の「虐待」の推移をみると、身体的虐待、ネグレクト、性的虐待が減少し、面前DVも含めた心理的虐待が約6割を占めるほど増加してきています。

「虐待」や「いじめ」は、人権侵害です。人権とは、私たちが幸せに生きるための権利で、世界中の誰もが持っている権利です。来月の12月10日は国際連合が定めた「人権デー」です。それを受け、我が国では、毎年、12月4日から10日までを「人権週間」と定めています。その期間中、人権に関する人々の意識を高め、平和で、人に優しい社会をつくるため、全国各地でさまざまな啓発活動が展開されます。

本校では、日頃より生活全体の言語環境を整えたり、各教科や特別な教科道徳、特別活動、総合的な学習の時間等も活用し、「思いやりの心」や「かけがえのない命」について考える場を設けたりして、「人への優しさ」を育てています。特に12月の人権週間では、人権について校内放送を行ったり、自分が友達に使っている言葉について見直したりして、「いじめ」のない、学校づくりを進めていきます。

アンパンマンの作者であるやなせたかしさんは、著書「ボクと、正義と、アンパンマン」の中で、「人間が一番うれしいことはなんだろう？長い間、ボクは考えてきた。そして結局、人間が一番うれしいのは、人間を喜ばせることだということがわかりました。実に単純なことです。ひとはひとをよろこばせることが一番うれしい。・・・中略・・・ひとはみんな、よろこばせごっこをして生きています。それが、このいかにもさびしげな人生のささやかなたのしみになります。」

今年の人権週間には、「いじめをしない」「いやなことを言わない」ということよりも一歩進んで、「相手の喜ぶことをしよう」と子供たちに呼びかけていきたいと思います。家庭でも家族が喜んでくれることに喜びを覚え、学校でも他人の感謝の言葉にやりがいを感じたりするのではないのでしょうか。「誰かの役に立っている」その思いが自分の原動力になることは大いにあることだと思います。まわりの人を喜ばせるために何ができるかを考え、子供たちとともに、ひとつひとつ実行していきたいと思います。



杉っ子ステージ発表会



10月24日（金）に「杉っ子ステージ発表会」を行いました。当日は晴れ空で、暖かな日となり、多くの保護者の方々に子供たちのがんばる姿を観ていただくことができました。

今年のスローガンは「自分の色を 最大発揮 ～心を一つにして～」に児童会で決まりました。どの学年のステージ発表も日頃の学習内容を生かし、マイクに頼らず、自分の声でゆっくり・はっきり伝えるように頑張りました。いろいろな場面で子供たちの成長が感じることができ、来場されたご家族から大きな拍手をもらった子供たちは、達成感や満足感を味わい、自己有用感に裏付けされた自尊感情が一段と高まったと思っています。また、ご家族の方々も成長したお子様の姿に感心や感動されたことと思います。

一年の振り返り地点を過ぎました。今回の発表を踏み台として、さらにステップアップできるように取り組んでいきたいと思っています。



5年生
つなげよう！～人・思い・お米の大切さ～



1年生
おむすびころりん



2年生
スイミー



3年生
イツ ア カラフルワールド



4年生
守ろう地球環境 ～小杉小発 環境プロジェクト～



6年生
気まぐれ ロボット

5年生おにぎりパーティー

5年生が、10月29日(水)に大江保育園、30日(木)に小杉東部保育園、31日(金)に小杉西部こども園の年長児を招いておにぎりパーティーを開きました。

5年生は社会科や総合的な学習の時間に日本の米作りを学び、実際に自分たちも田植えや稲刈りも地域の方々の協力で体験することができました。その体験で収穫したお米を使って近隣の保育園の園児とおにぎりパーティーを開き、お米クイズや学校クイズの他、ラップを使って簡単おにぎりを自分たちで作って食べました。招待した園児も5年生児童もはじめは緊張していてあまり話しもしませんでしたが、クイズをしたりしているうちに緊張もほぐれ、仲よく話したり、一緒におにぎりを食べたりしていました。

このおにぎりパーティーで各園の年長児の小学校に対する垣根がきっと低くなってくれたと信じています。

